

## 4月4日：売り圧力が高まり下落

火曜日にベトナム株は下落した。いくつかの大型株に売り圧力が高まったことで、相場を下押しした。

ホーチミン取引所のVN指数は0.08%安の1,078.45ポイントで取引を終えた。月曜日には1.38%上昇していた。

261銘柄が上昇したのに対して139銘柄が下落した。

出来高は8億株ほどで売買代金は13.5兆ドンだった。

大型株で構成されるVN30指数は0.03%安の1,088.34ポイントで取引を終えた。30銘柄の内の13銘柄の上昇に留まった。

下落したのは、ノブランド不動産(NVL)、ビナミルク(VNM)、ビンググループ(VIC)、ベトジェット(VJC)、サイゴンビール(SAB)などだった。

銀行セクターはまちまちだった。下落したのはベティンバンク(CTG)、アジアコマーシャル銀行(ACB)などだった。

一方、上昇したのはVPバンク(VPB)、軍隊商業銀行(MBB)、テクコムバンク(TCB)、サコムバンク(STB)、BIDV(BID)などだった。

エネルギー関連も下落した。PVC、PVD、PVS、OILといったティッカーが下落した。

流動性が大きく改善している。この状態が続くならば、1,080-1,100ポイントを目指す展開となるだろうとロンベト証券はコメントした。

しかし1,100ポイント付近は抵抗帯であるため、売り圧力が高まると予想される。

そのため、投資家は上昇トレンドに乗ることは出来るが、買いすぎには注意し、上昇時には利益確定に動きリスクを減らすことを検討するべきだと忠告した。

セクター別では、25セクター中の23セクターが下落した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.12%高の210.73ポイントで取引を終えた。

出来高は9,200万株で売買代金は1.28兆ドンだった。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。